

第54回通常総代会 議案書

と き：令和4年6月17日（金）午後1時30分

ところ：北九州市小倉北区馬借一丁目2番1号

ホテルクラウンパレス小倉

3階「ダイヤモンドホール」

昭和43年から自治会とともに歩む**助け合い**の制度です！

お隣さん・友人・知人 **一人でも多くの方に**すすめてください！

交通災害共済



小さな掛金 1年間の掛金**500円**で
大きな助け合い **最高120万円**の保障！

（この議案書は総代会へご持参ください）

議事次第

1. 開会のことば

2. 理事長あいさつ

3. 議長選出

4. 議事録署名人選出、書記任命、議事運営委員選出

5. 議 事

- | | |
|-------|-------------------------|
| 第一号議案 | 令和3年度活動報告承認の件 |
| 第二号議案 | 令和3年度決算報告及び剰余金処分(案)承認の件 |
| 第三号議案 | 令和4年度活動方針決定の件 |
| 第四号議案 | 令和4年度予算決定・役員報酬承認の件 |
| 第五号議案 | 令和4年度役員選任の件 |
| 第六号議案 | 議案議決効力発生の件 |

6. 閉会のことば

第一号議案 令和3年度活動報告承認の件

I 令和3年度は、第53回通常総代会で定めた「令和3年度の活動方針」に基づき活動を行いました。

(令和3年度活動方針の概要)

・令和3年度は、組合員が組合員を増やす取り組みをなお一層進め、加入口数180,000口を実現します。

II 活動結果

1 組合員・加入者を増やす取り組み

(1) 当生協は、昭和43年度から自治会とともに歩む助け合いの組織であり、「小さな掛金で大きな助け合い」という制度・内容を持つ貴重な共済であることを総代会、理事会、各市町、各区において、再確認しました。

(2) 令和3年度も、活動方針に基づき各市・各町・各区において、助け合いの輪を広げ、契約口数の減少を止め、一人でも多く増やす取り組みを行ってきました。

(3) 具体的には、公共施設へ出向いてのイベントでのブースの設置・啓発グッズの配布や市役所職員・消防団員への加入依頼、また、各市・各町においても、独自にチラシやグッズの配布を行うなど加入者確保のための様々な取り組みを行いました。

さらに、令和2年度に導入しました「個人賠償責任補償」の案内や加入口数の限度が3口に改正された旨のチラシの配布により周知を行い、加入口数の増加に努めました。

(4) こうした、一人でも多くの組合員を増やすという方針に基づき活動を行いました。しかし、コロナ禍における感染症拡大防止対策のため十分な活動が行えなかったことなどから、組合員総数につきましては、令和2年度に比べ減少する結果となり、加入口数は、全体で、152,986口となりました。

	元年度	2年度	3年度			2年度比
	加入口数	加入口数	新規組合員数	組合員数	加入口数	
門司区	19,739	18,628	69	7,217	17,418	-1,210
小倉北区	21,941	21,053	76	7,653	19,423	-1,630
小倉南区	27,077	24,726	83	8,795	22,370	-2,356
若松区	13,526	12,686	57	4,864	11,766	-920
八幡東区	13,387	12,622	35	4,907	11,697	-925
八幡西区	31,512	29,597	82	10,846	27,274	-2,323
戸畑区	7,782	7,338	18	2,721	6,719	-619
小計	134,964	126,650	420	47,003	116,667	-9,983
中間市	6,936	6,429	26	2,855	5,863	-566
水巻町	3,492	3,504	35	1,163	3,264	-240
芦屋町	3,971	3,928	18	1,591	3,512	-416
遠賀町	3,265	3,120	34	1,320	2,954	-166
岡垣町	8,444	7,731	30	3,161	6,863	-868
小計	26,108	24,712	143	10,090	22,456	-2,256
行橋市	9,892	9,303	63	4,259	8,657	-646
苅田町	3,745	3,462	17	1,638	3,219	-243
みやこ町	2,202	2,038	13	765	1,987	-51
小計	15,839	14,803	93	6,662	13,863	-940
合計	176,911	166,165	656	63,755	152,986	-13,179

(5) 今年度も5名以上もしくは10口以上増えた町内会を表彰いたします。
北九州市7区では、今年度表彰対象となる町内会は10町内となりました。
昨年度より対象となる町内会は10町内減少しました。

元年度	2年度	3年度
表彰対象になった町内会数	表彰対象になった町内会数	表彰対象になった町内会数
15	20	10

感謝状対象町内会一覧

5～12ページ

(6) 表彰対象ではありませんが、2年度の加入口数を維持もしくは増やした町内会が北九州市内で全体の約3分の1にあたる1,284町内会ありました。

	元年度	2年度	3年度	3年度に前年度の口数維持もしくは増やした町内会		
	表彰対象の町内会			全町内会数	加入口数を維持もしくは増やした町内会	割合
門 司	2	3	2	604	209	34.60%
小 倉 北	0	4	0	533	148	27.77%
小 倉 南	1	0	2	264	52	19.70%
若 松	4	3	2	1,127	542	48.09%
八 幡 東	0	1	0	346	108	31.21%
八 幡 西	8	9	4	704	190	26.99%
戸 畑	0	0	0	183	35	19.13%
合 計	15	20	10	3,761	1,284	34.14%

※ 若松区は町内会数ではなく組数で表記。

2 自由脱退処理（所在不明の組合員の整理）について（報告）

長期間組合事業を利用していない組合員を対象に所在調査を行った結果、所在が不明な組合員について、組合脱退の予告があったものと見なし、定款第10条第2項の規定に基づき、次のとおり脱退処理を行いました。

(1) 対象者

令和元年度までに組合員となり、2期連続して組合事業を利用していない組合員で、所在調査の結果、所在が不明の組合員（401名）

(2) 脱退手続

令和4年2月17日開催の理事会で議決承認後、令和4年3月31日付で自由脱退処理を行いました。

3 まとめとして

(1) 令和3年度においても、コロナ禍における感染症拡大防止の制限を受けながらも、イベントでのブースの設置・啓発グッズの配布や市役所職員・消防団員への加入依頼、さらには、各市・各町でも、独自にチラシやグッズの配布を行うなど加入者確保のための取り組みを行いました。

また、昨年度に導入しました「個人賠償責任補償」の案内や加入口数の限度が3口に改正された旨のチラシの配布により周知を行い、加入口数の増加に努めました。

(2) このように、様々な取り組みを行いました。令和3年度の加入全体での状況は、加入者の減少を止めることが出来ず、残念ながら加入口数は、目標の180,000口を達成することはできず、全体での加入口数は、152,986口となり、前年比で13,179口の減少と厳しいものとなりました。

(3) また、各市・各町の加入状況を見ても、すべての市・町で減少傾向が続

くなど、依然厳しい結果となっています。今一度、私たち自らが、各地域の実情を踏まえながら、組合員の加入促進への取り組みを強化していく必要があります。

5名以上もしくは10口以上増えた町内会の一覧表(北九州市)

通番	区番号	選挙区	校区	町内会	新規			継続			合計			総口数	2-1		3-2		備考	
					世帯数	1口	2口	3口	世帯数	1口	2口	3口	1口		2口	3口	(口数)	(人数)		(口数)
1	1		門司	上本町3	2	8			18	40	4	20	48	4	56		8			
2	2	2年度 門司区	清見	大久保本町	1		1	17	10	14	8	18	10	15	64	12				
3	3		白野江	第二市住団地	1	5		5	14	4	6	19	4	27		5				
1	1	3年度 門司区	大里東	柵	1	3		6	16			7	19		19				5	
2	2		清見	清見佐夜町	1	1		13	39			14	40		40				5	

5名以上もしくは10口以上増えた町内会の一覧表(北九州市)

通番	区番号	選挙区	校区	町内会	新 規				継 続				総口数	2-1		3-2		備考		
					世帯数	1口	2口	3口	世帯数	1口	2口	3口		1口	2口	3口	(口数)		(人数)	(口数)
4	1		貴船	白銀二・三	1	0	0	4	14	18	0	0	15	18	0	4	22	12		
5	2	2年度 小倉北区	小倉中央 米町	京町第三	9	11	1	0	13	17	3	0	22	28	4	0	36	13	12	
6	3		富野	コープ野村	6	8	0	0	1	4	0	0	7	12	0	0	12		8	
7	4		中島	吉野第二	3	7	0	0	23	42	5	0	26	49	5	0	59		7	
		3年度 小倉北区																		

5名以上もしくは10口以上増えた町内会の一覧表(北九州市)

通番	区番号	選挙区	校区	町内会	新規				継続				合計	総口数	2-1		3-2		備考	
					世帯数	1口	2口	3口	世帯数	1口	2口	3口			(口数)	(人数)	(口数)	(人数)		
8	1		西14区	9組				2	3	2	3	4	2	3	2	14	10			
9	2	2年度 若松区	17区	7組		3			6	3	14	7	3	17		37	15			
10	3		28区	10組					22	70	2	22	70	2		74	11			
5	1	3年度 若松区	15区	16組					8	17		8	17			17				7
6	2		23区	8組	1	5	2		3	5	1	4	10	3		16				7

5名以上もしくは10口以上増えた町内会の一覧表(北九州市)

通番	区番号	選挙区	校区	町内会	新規			継続			合計				総口数	2-1		3-2		備考
					世帯数	1口	2口	3口	世帯数	1口	2口	3口	1口	2口		3口	(口数)	(人数)	(口数)	
11	1	2年度 八幡東区	枝光第一	山王2-3町会	1	5		26	44	2	27	49	2	53			7			
		3年度 八幡東区																		

5名以上もしくは10口以上増えた町内会の一覧表(北九州市)

通番号	区番号	選挙区	校区	町内会	新			規			継			統			合			計		2-1		3-2		備考
					世帯数	1口	2口	3口	世帯数	1口	2口	3口	世帯数	1口	2口	3口	世帯数	1口	2口	3口	総口数	(口数)	(人数)	(口数)	(人数)	
12	1		黒崎第2	清納5	0	0	0	0	0	17	20	7	0	17	20	7	0	34	13							
13	2		御開	御開下1	1	0	2	0	0	23	54	3	0	24	54	3	0	60		6						
14	3		本城西県	県公社	2	2	2	0	0	8	8	6	1	10	10	8	1	29		7						
15	4		本城西大	千代ヶ崎2	0	0	0	0	0	13	39	1	9	13	39	1	9	68		8						
16	5	2年度 八幡西区	春日台	市住第3	0	0	0	0	0	8	9	7	0	8	9	7	0	23		8						
17	6		引野	引野1丁目3	1	3	0	0	0	7	18	0	0	8	21	0	0	21		6						
18	7		馬場山金	第8(A)	1	1	0	0	0	11	7	11	1	12	8	11	1	33		13						
19	8		馬場山東	馬場山南	1	5	0	0	0	44	78	15	3	45	82	15	3	121		8						
20	9		職域	なごみ運送	1	0	0	1	29	28	0	1	29	29	0	1	30	92		30						
7	1		本城西県	3町内会	1	5	0	0	0	11	10	11	0	12	15	11	0	37						5		
8	2	3年度 八幡西区	馬場	第5	2	4	0	0	0	28	51	15	0	30	55	15	0	85						5		
9	3		小野田	3町内会	0	0	0	0	0	4	8	3	0	4	8	3	0	14			10			6		
10	4		木屋瀬	新町	0	0	0	0	0	27	55	6	5	27	55	6	5	82						5		

5名以上もしくは10口以上増えた町内会の一覧表(北九州市)

通番	区番号	選挙区	校区	町内会	新規				継続				合計			総口数	2-1		3-2		備考	
					世帯数	1口	2口	3口	世帯数	1口	2口	3口	世帯数	1口	2口		3口	(口数)	(人数)	(口数)		(人数)
		2年度 戸畑区																				
		3年度 戸畑区																				

5名以上もしくは10口以上増えた区会の一覧表（2市6町）

番通	番区	選挙区	対象区	番通	番区	選挙区	対象区
1	1	中間市	川端自治会	8	6	行橋市	福原区
2	1	水巻町	樋口自治会	9	7		平島区
3	1	行橋	亀川区	10	8		羽根木東区
4	2		桜町区	11	9		草場区
5	3		元永区	12	10		吉国三区
6	4		高瀬1区	13	11		入覚1区
7	5		道場寺本区				

第二号議案 令和3年度決算報告及び剰余金処分（案）承認の件

1 決算概要

(1) 損益の状況

ア 目標とした契約口数を達成できず、受入共済掛金は、76,551千円となり、前年度と比べて6,565千円減少しました。

イ 支払共済金は、29,388千円でした。

前年度と比べて211千円減少しています。掛金の38.4%を共済金として支払っています。

ウ 令和3年度決算においては、当期の総収益が当期の総費用を上回ったため、剰余金が生じております。

エ 当期剰余金は、2,002千円となりました。

2 剰余金処分案

令和3年度決算における当期剰余金は、法定準備金として積み立てることとします。

1. 組合員出資状況

組 合 員 出 資 金 増 減 表

年度	区分	組 合 員 数	出 資 口 数	出 資 金 額
2 年 度 末 現 在		447,454 ^人	1,204,712 ^口	120,471,200 ^円
3 年 度 中 増 加 分		656	4,629	462,900
3 年 度 中 減 少 分		894	5,512	551,200
3 年 度 末 現 在		447,216	1,203,829	120,382,900

2. 共済事業の実施状況

(1) 共済事業加入者掛金収入状況

年度	区分	契約人員		総口数	共 済 掛 金
			人		
30年度末現在		162,373	134,238 ^{1口} 28,135 ^{2口}	190,508	95,254,000 ^円
元年度末現在		150,595	124,197 ^{1口} 26,398 ^{2口}	176,993	88,496,500
2年度末現在		139,121	113,760 ^{1口} 23,612 ^{2口} 1,749 ^{3口}	166,231	83,115,500
3年度末現在		127,706	104,349^{1口} 21,319^{2口} 2,038^{3口}	153,101	76,550,500

(2) 共済金支払明細表

年度		等級	1等級	2等級	3等級	4等級	5等級	6等級	小計	追加分	合計
2 年 度 (A)	件数		4	3	93	258	179	56	593	(2)	593 ^件
	金額		5,220	2,400	5,204	10,289	5,358	1,098	29,569	30	29,599 ^{千円}
3 年 度 (B)	件数		9	0	80	206	138	47	480	(3)	480 ^件
	金額		11,700	0	4,327	8,600	3,827	905	29,359	29	29,388 ^{千円}
比 較 増 減 (B)-(A)	件数		5	△ 3	△ 13	△ 52	△ 41	△ 9	△ 113	(1)	△ 113 ^件
	金額		6,480	△ 2,400	△ 877	△ 1,689	△ 1,531	△ 193	△ 210	△ 1	△ 211 ^{千円}

()は件数に含まない

3. 役員、職員総代等の組織の状況

(1) 役員状況

令和4年3月31日現在

役職名	氏名	備考
理事長	北橋健治	北九州市長
副理事長	梅本和秀	北九州市副市長
専務理事	小坪正夫	専務理事
理事	秋本直人	北九州市民共済生活協同組合事務局長
理事	藤沢加代	北九州市議会議員
理事	酒井光義	北九州市保育所連盟会長
理事	遠藤禎幸	連合福岡・北九州地域協議会事務局長
理事	進森太郎	門司区自治総連合会会長
理事	島本喜多江	門司区婦人会連絡協議会会長
理事	立花三男	小倉北区自治総連合会会長
理事	中村啓子	小倉北区連合婦人会会長
理事	松井清記	小倉南区自治総連合会会長
理事	平野建	若松区自治総連合会会長
理事	宮地久男	八幡東区自治総連合会会長
理事	安井紀義	八幡西区自治総連合会会長
理事	太田康子	八幡西区婦人会連絡協議会会長
理事	三上久恵	戸畑区自治総連合会会長
理事	浜和枝	戸畑区婦人会協議会会長
理事	—	中間市副市長
理事	吉岡正	水巻町副町長
理事	中西新吾	芦屋町副町長
理事	行事和美	遠賀町副町長
理事	義経俊二	岡垣町副町長
理事	城戸好光	行橋市副市長
理事	城野和幸	苅田町副町長
理事	山見紀幸	みやこ町総務課長
監事	三浦隆史	北九州市PTA協議会会長
監事	谷川哲也	連合福岡・北九州地域協議会
監事	鈴木雅子	元北九州市職員研修所長

(2) 職員の状況

令和4年3月31日現在

区 分	合 計		総平均
	男 子	女 子	
職 員 数	3 名	3 名	
平 均 年 齢	66.3 歳	53.0 歳	59.6 歳
平均勤続年数	7.3 年	11.0 年	9.2 年
	合計 6 名		

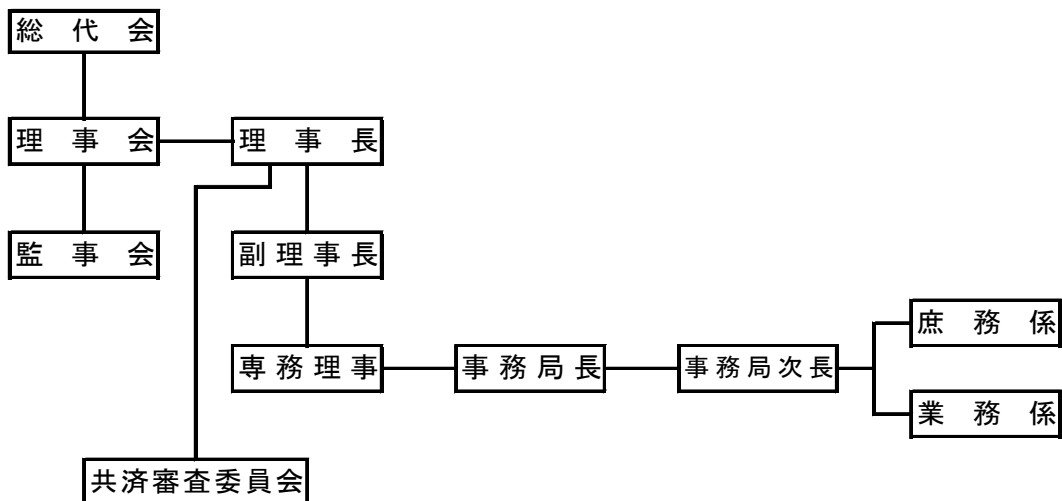
(3) 総代の状況

令和4年3月31日現在

区・市・町	総代数	区・市・町	総代数
門 司 区	21 名	水 巻 町	3 名
小倉北区	26 名	芦 屋 町	4 名
小倉南区	25 名	遠 賀 町	3 名
若 松 区	15 名	岡 垣 町	6 名
八幡東区	17 名	行 橋 市	10 名
八幡西区	29 名	苅 田 町	4 名
戸 畑 区	13 名	み や こ 町	3 名
中 間 市	6 名	合 計	185 名

(4) 組織

令和4年3月31日現在



4. 過去3年間における組合の事業の概況

区 分	令和3年度	令和2年度	令和元年度
契約人数 (人)	127,706	139,121	150,595
契約口数 (口)	153,101	166,231	176,993
契約高 (万円)	18,372,120	19,947,720	21,239,160
共済支払件数 (件)	480	593	774
基礎利益 (円)	△1,376,963	△1,822,176	△3,457,877
受入共済掛金 (円)	76,550,500	83,115,500	88,496,500
支払共済金 (円)	29,387,900	29,598,500	40,102,800

注記 基礎利益＝経常剰余＋（異常危険準備金戻入額－異常危険準備金繰入額）

5 過去3年間における組合の財産の概況

(1) 貸借状況

(単位：円)

区 分	令和3年度	令和2年度	令和元年度	
資産の部	現金及び預金	325,412,015	322,136,930	318,291,775
	有価証券	0	0	0
	その他の資産	5,000	5,000	5,000
	固定資産等	2,157,597	3,070,991	0
資産合計	327,574,612	325,212,921	318,296,775	
負債の部	支払備金	3,600,000	3,600,000	0
	責任準備金	135,362,885	134,830,110	133,360,835
	引当金	-	-	-
	その他の負債	3,712,974	3,797,685	3,828,632
負債合計	142,675,859	142,227,795	137,189,467	
資本の部	組合員出資金	120,382,900	120,471,200	120,591,600
	法定準備金	62,108,200	60,108,200	59,508,200
	未処分剰余金	2,407,653	2,405,726	1,007,508
資本合計	184,898,753	182,985,126	181,107,308	
負債及び資本合計	327,574,612	325,212,921	318,296,775	

(2) 損益状況

(単位：円)

区 分		令和3年度	令和2年度	令和元年度
経常 収益	共済掛金等収入	76,550,500	83,115,500	88,496,500
	共済契約準備金戻入額	45,141,250	44,227,750	47,604,750
	資産運用収益	10,755	45,014	110,477
	引当金戻入額	-	-	-
	その他の経常収益	430,511	358,408	358,408
	合 計	122,133,016	127,763,652	136,570,135
経常 費用	共済金等支払額	29,388,400	29,599,000	40,102,800
	共済契約準備金繰入額	45,674,025	49,297,025	48,652,575
	資産運用費用	-	-	-
	事業経費	44,620,029	46,534,028	46,847,812
	合 計	119,682,454	125,430,053	135,603,187
	経常剰余金	2,450,562	2,333,599	966,948
	税引前当期剰余金	2,450,562	2,333,599	966,948
	法人税等	448,635	335,381	345,408
	当期剰余金	2,001,927	1,998,218	621,540

貸 借 対 照 表

令和4年3月31日現在

(単位:円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
I 現金及び預金	325,412,015	I 共済契約準備金	138,962,885
1. 現 金	1,000,000	1. 未経過共済掛金	38,246,500
2. 当 座 預 金	0	2. 異常危険準備金	97,116,385
3. 普 通 預 金	107,412,015	3. 支 払 備 金	3,600,000
4. 定 期 預 金	217,000,000	II 未 払 税 金	447,000
II 業務用固定資産	2,157,597	III その他負債	3,265,974
1. 有形固定資産	738,759	1. 預 り 金	318,692
2. 無形固定資産	1,418,838	2. 出 資 預 り 金	2,947,282
III 関係団体出資金	5,000	3. 未 払 金	0
		負債合計	142,675,859
		(純資産の部)	
		I 組合出資金	120,382,900
		II 法定準備金	62,108,200
		III 前期繰越剰余金	405,726
		IV 当期剰余金	2,001,927
		純資産合計	184,898,753
資産合計	327,574,612	負債及び純資産合計	327,574,612

損 益 計 算 書

自 令 和 3 年 4 月 1 日
至 令 和 4 年 3 月 31 日

(単位：円)

	科 目	金	額
経 常	(経常収益)		122,133,016
	I 共済掛金等収入	76,550,500	
		76,550,500	
	II 共済契約準備金戻入額	45,141,250	
	1. 責任準備金戻入額	45,141,250	
	未経過共済掛金戻入額	41,541,250	
	異常危険準備金戻入額	0	
	支払備金戻入額	3,600,000	
	III 資産運用収益	10,755	
	1. 利息及び配当金等収益	10,755	
(1) 預金利息	10,755		
(2) 有価証券運用利息	0		
IV その他経常収益	430,511		
損 益	(経常費用)		119,682,454
	I 共済金等支払額	29,388,400	
	1. 支払共済金	29,387,900	
	2. 支払解約返戻金	500	
	II 共済契約準備金繰入額	45,674,025	
	1. 未経過共済掛金繰入額	38,246,500	
	2. 異常危険準備金繰入額	3,827,525	
	3. 支払備金繰入額	3,600,000	
	III 事業経費	44,620,029	
	1. 人件費	30,862,041	
2. 物件費	8,448,478		
3. 加入促進費	5,309,510		
	経 常 剰 余		2,450,562
	税 引 前 当 期 剰 余 金		2,450,562
	法 人 税 等		448,635
	当 期 剰 余 金		2,001,927
	前 期 繰 越 剰 余 金		405,726
	当 期 未 処 分 剰 余 金		2,407,653

剰余金処分案

(単位：円)

I 当期末未処分剰余金		2,407,653
1. 前期繰越剰余金	405,726	
2. 当期剰余金	2,001,927	
II 当期処分額		2,000,000
法定準備金	2,000,000	
III 次期繰越剰余金		407,653

【注記】

- 1 前期繰越剰余金及び次期繰越剰余金には、教育事業等繰越金 200,000 円を含みます。

附 属 明 細 書

1 組合員資本の状況

(単位：円)

区 分	期首残高	増 加 額	減 少 額	期末残高
出 資 金	120,471,200	462,900	551,200	120,382,900
法 定 準 備 金	60,108,200	2,000,000	0	62,108,200
合 計	180,579,400	2,462,900	551,200	182,491,100

2 固定資産等の状況

(1) 固定資産明細表

(単位：円)

資 産 の 種 類		期 首 帳 簿 価 額	当 期 増 減 額	当 期 償 却 額	当 期 末 帳 簿 価 額	当 期 末 償 却 累 計 額
有形 固定 資産	器 具 備 品	1,231,264	0	492,505	738,759	629,311
無形 固定 資産	ソフトウェア開発費用	1,355,750	0	319,000	1,036,750	558,250
	ソフトウェア開発費用	483,977	0	101,889	382,088	127,361
		3,070,991	0	913,394	2,157,597	1,314,922

(2) 関係団体等出資金明細表

(単位：円)

関係団体等	期首残高	増 加 額	減 少 額	期末残高
福岡県生活協同組合連合会	5,000	0	0	5,000

3 役員報酬の状況

(単位：円)

区 分	定款上の定員(名)	支給人員(名)	支給額
理 事	25~28	2	5,388,000
監 事	2~4	0	0
合 計		2	5,388,000

4 事業経費の明細

(単位：円)

科 目	金 額
1. 人 件 費	30,862,041
役 員 報 酬	5,388,000
職 員 給 与	20,571,804
福 利 厚 生 費	4,902,237
2. 物 件 費	8,448,478
減 価 償 却 費	913,394
賃 借 料	793,711
事 務 費	966,983
光 熱 水 費	704,577
印 刷 費	1,394,970
保 険 料	30,000
通 信 費	1,138,737
諸 会 議 費	233,365
車 両 費	520,631
宣 伝 費	972,558
電 算 維 持 費	334,552
費 用 弁 償	350,000
渉 外 費	5,000
委 託 費	90,000
3. 加入促進費	5,309,510
加 入 促 進 費	4,006,980
事 務 補 助 費	1,302,530
事 業 経 費 合 計	44,620,029

5 支払余力比率 4272%

6 その他

(1) 銀行預金等明細表

(単位：円)

金融機関名	普通預金	定期預金	合計
福岡銀行 八幡支店	18,418,415	50,000,000	68,418,415
みずほ銀行 北九州支店	2,849,362	22,000,000	24,849,362
西日本シティ銀行 北九州営業部	33,688,714	70,000,000	103,688,714
北九州銀行 八幡支店	15,798,530	35,000,000	50,798,530
福岡ひびき信用金庫 中央町支店	36,656,994	40,000,000	76,656,994
合計	107,412,015	217,000,000	324,412,015

監 査 報 告 書

令和4年5月10日

北九州市民共済生活協同組合
理事長 北 橋 健 治 様

監事 谷川 哲也



監事 鈴木 雅子



I 監査の方法及びその内容

私たちは、当組合の令和3年度（令和3年4月1日から令和4年3月31日まで）の事業報告書、決算関係書類（貸借対照表、損益計算書、剰余金処分案）及びその附属明細書並びに理事の業務執行状況について監査を行った。

私たちは、この監査を生協監事監査基準に準拠して行った。

II 監査意見

1 決算報告について

- (1) 事業報告書及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、当組合の状況を正しく示しているものと認める。
- (2) 決算関係書類及びその附属明細書は、当組合の財産及び損益の状況を正しく示しているものと認める。
- (3) 剰余金処分に関する議案は、法令及び定款に適合しているものと認める。

2 理事の業務執行状況について

- (1) 理事は、法令、定款・規約に従い、総代会において決定された事業方針に基づいて職務を遂行しているものと認める。

第三号議案 令和4年度活動方針決定の件

昭和43年度から自治会とともに歩む助け合いの制度です！

令和4年度は、組合員が組合員を増やす取り組みをなお一層進めることを最大の活動方針とします。

1 組合員が組合員・加入者を増やす取り組みを今年度も引き続き広げます。

- (1) 昭和43年北九州市の発議により、相互扶助実践の場として、自治会自らが助け合いの組織である生協を設立して以来、53年にわたって交通共済事業を行ってまいりました。
- (2) しかし、現在の加入口数は、昭和61年度のピーク時に比べて3分の1近くにまで減少しています。加入口数がこれ以上減少すれば、交通災害共済事業の維持そのものが困難になります。
- (3) これまでも、自治会・町内会を通じた組織的な取り組みとお隣さん・友人・知人に加入を勧めるという人と人のつながりを意識した取り組みを行ってきました。
- (4) 令和4年度は、今一度、共済設立当初に立ち返り、交通災害共済事業を継続するためにも、組合員自らと私たち（理事・総代）が積極的に行動する一年とします。
- (5) 交通災害共済は、助け合いの制度であることを再認識し、令和3年度に引き続き自治会・町内会を通じた組織的な取り組みとお隣さん・友人・知人に加入を勧めるという人と人のつながりを意識した取り組みを充実・強化して、一人でも多くの組合員を増やします。

2 具体的に以下の取り組みを行い、加入口数の減少に歯止めをかけます。

- (1) 交通共済の理念であり基礎である「助け合い」をきちんと私たち（理事・総代）が引き続き伝え広げます。死亡・転居等のやむを得ない場合を除き、契約を継続されるように、さらには、加入口数の増加への取り組み方法を学び広げて、一丸となって加入口数の減少に歯止めをかけます。
- (2) 各市町においては、各地域の実情に応じた取り組みを行い、加入促進を図ります。
- (3) 交通共済のメリットや補償内容などを詳細に記載した「リーフレット」の主旨、使い方や、働きかけの説明を事務局が丁寧に行い、取扱者（自治会役員）より組合員の皆さんに確実に届けられるようにします。また、取扱者（自治会役員）まで伝えるのには時間が必要であるため、取り組みの相談、リーフレットの配布等は、すでに実行しています。
- (4) 令和4年度も、広報活動に力を傾注します。市政だよりや自治会だよりなど加入者に身近な広報媒体への広告掲載や交通共済制度の概要を掲載した町内会回覧などに利用できるチラシを作成するなどして、現加入者の

継続加入及び新規加入者の確保のために交通災害共済事業の周知を図ります。また、昨年度に続き、地域イベントでの啓発グッズの配布や各市町独自の加入促進に向けた取り組みなどを行います。

(5) また、令和2年度から加入口数の限度が3口に改正された旨を分かりやすく記載したチラシを作成し、改正の周知を行い、3口移行への促進を図ります。

あわせて、「個人賠償責任補償」導入の周知を図り、加入口数の増加に努めます。

(6) この活動方針の主旨を、理事・総代を始めとした組合員全員で共有するとともに、一丸となって行動し、令和4年度は、160,000口を目標に、一人でも多くの組合員を増やすことを最大の方針とします。

(7) 上記方針を執行していくために、以下、準備します。

準備するもの	備考(内容等)
リーフレット	<ul style="list-style-type: none">・ 加入について・ 請求方法について・ 対象となる交通事故事例・ 共済金額について
チラシ	<ul style="list-style-type: none">・ 加入申込み開始のお知らせ・ 交通共済の概要

第四号議案 令和4年度予算決定・役員報酬承認の件

1 令和4年度予算の件

- (1) 際限なく事業、そして事業を担う体制を縮小することはできません。昭和61年をピークに一貫して減少している契約口数を増やす取り組みを行います。
- (2) 収入の部で、事業収入は、加入口数160,000口の受入共済掛金80,000千円を予算とします。
- (3) 支出の部で、支払共済金は、32,000千円を見込みます。一般管理費では、3年度に引き続き、組合員・加入者・口数を増やすために配布する交通災害共済の事業内容を掲載したリーフレットや新規加入者の促進に向けた回覧などに使用できるチラシの作成料などの経費を計上します。
- (4) 当期剰余は、1,138千円を見込みます。

2 令和4年度役員報酬の件

令和4年度の役員報酬については、下記の総額の範囲とし、その範囲内における役員報酬額、支給方法等については、理事に関しては理事会に一任をお願いします。

- (1) 理事の報酬 総額 540万円
- (2) 監事の報酬 総額 無報酬

令和4年度予算目論見書

自 令和4年4月1日

至 令和5年3月31日

支 出 の 部			収 入 の 部		
科 目	金 額		科 目	金 額	
	(円)	(円)		(円)	(円)
事業支出		32,001,000	事業収入		80,000,000
支払共済金	32,000,000		受入共済掛金	80,000,000	
支払解約返戻金	1,000				
共済契約準備金繰入		44,000,000	共済契約準備金戻入		41,847,000
未経過共済掛金繰入	40,000,000		未経過共済掛金戻入	38,247,000	
異常危険準備金繰入	4,000,000		異常危険準備金戻入	0	
支払備金繰入	0		支払備金戻入	3,600,000	
一般管理費		45,019,000	事業外収入		311,000
役員報酬	5,025,000	30,593,000	受入利息	11,000	
給与諸手当	20,604,000		雑収入	300,000	
福利厚生費	4,964,000				
減価償却費	913,000	9,136,000			
賃借料	794,000				
事務費	985,000				
光熱水費	705,000				
印刷費	1,489,000				
保険料	30,000				
通信費	1,139,000				
諸会議費	304,000				
車両費	532,000				
宣伝費	973,000				
電算維持費	327,000				
費用弁償	850,000				
渉外費	5,000				
委託費	90,000				
加入促進費	3,990,000	5,290,000			
事務補助費	1,300,000				
当期剰余金		1,138,000			
合計		122,158,000	合計		122,158,000

第五号議案 令和4年度役員選任の件

今総代会は、役員（理事・監事）の改選期です。定款第20条一役員は、役員選任規約の定めるところにより、総代会において選任する一に基づき、以下のとおり、令和4年度の役員体制を提案します。

	氏 名	選出区分	備 考
理事候補	北 橋 健 治	全 体	北九州市長
理事候補	梅 本 和 秀	全 体	北九州市副市長
理事候補	辰 本 道 彦	全 体	—
理事候補	草 野 智 彦	全 体	北九州市民共済生活協同組合事務局長
理事候補	藤 沢 加 代	全 体	北九州市議会議員
理事候補	酒 井 光 義	全 体	北九州市保育所連盟会長
理事候補	遠 藤 禎 幸	全 体	連合福岡・北九州地域協議会
理事候補	山 下 洋 介	門 司 区	門司区自治総連合会会長
理事候補	島 本 喜 多 江	門 司 区	門司区婦人会連絡協議会会長
理事候補	肝 付 太 郎	小倉北区	小倉北区自治総連合会会長
理事候補	中 村 啓 子	小倉北区	小倉北区連合婦人会会長
理事候補	松 井 清 記	小倉南区	小倉南区自治総連合会会長
理事候補	平 野 建	若 松 区	若松区自治総連合会会長
理事候補	畠 中 聡 之	八幡東区	八幡東区自治総連合会会長
理事候補	高 宮 歳 継	八幡西区	八幡西区自治総連合会会長
理事候補	太 田 康 子	八幡西区	八幡西区婦人会連絡協議会会長
理事候補	三 上 久 恵	戸 畑 区	戸畑区自治総連合会会長
理事候補	浜 和 枝	戸 畑 区	戸畑区婦人会協議会会長
理事候補	田 代 謙 介	中 間 市	中間市総務部長
理事候補	吉 岡 正	水 巻 町	水巻町副町長
理事候補	中 西 新 吾	芦 屋 町	芦屋町副町長
理事候補	行 事 和 美	遠 賀 町	遠賀町副町長
理事候補	義 経 俊 二	岡 垣 町	岡垣町副町長
理事候補	戸 次 憲 一	行 橋 市	行橋市副市長
理事候補	城 野 和 幸	苅 田 町	苅田町副町長
理事候補	進 光 晴	み や こ 町	みやこ町総務課長
監事候補	三 浦 隆 史	全 体	北九州市PTA協議会
監事候補	谷 川 哲 也	全 体	連合福岡・北九州地域協議会
監事候補	鈴 木 雅 子	全 体	元北九州市職員研修所長

第六号議案 議案議決効力発生の特

監督官庁の指導やその後の判断により、字句等を修正する可能性があります。このため、議決された各号議案につき、本旨に反しない範囲で字句修正を理事会に一任することを提案します。



ホテルクラウンパレス小倉

福岡県北九州市小倉北区馬借 1-2-1

Tel. 093-511-4111

●電車

JR「小倉駅」から徒歩 11 分

JR「小倉駅」からタクシーで 8 分

●モノレール

且過駅から徒歩 5 分

●車（駐車場が限られていますので、自家用車でのお越しはご遠慮ください）

北九州都市高速「大手町ランプ」から車で 8 分

北九州市民共済生活協同組合